

深まりゆく秋 躍動する児童

校長 藤井 和彦

晩秋を迎え、あたりの山々はいよいよ色濃く染まってきました。校庭のケヤキも燃え上がるように色づいています。十一月七日は「立冬」でした。2学期も後半に入りこの後、小雪・大雪・冬至と日に寒さが増してくるこの頃です。

前回紹介しましたように、今年度四年生が総合的な学習の時間で「古川仁後の馬乗り滝」を題材に取り上げ、自分たちも現地を訪ね、周辺の自然を知るとともに、地元为学校としてどのように紹介し、発信していくかなど、学習しています。

十一月三日文化の日に、スポーツ少年団の活動として、古川消防屯所からこの滝まで歩いて、「身近な秋の自然に親しむ」行事がありました。今回は、学校で地域教材として学習していることもあり、古川自治振興会様より、スポ少メンバーだけでなく、多くの児童に呼び掛けてほしいという話があり、四十名近くの児童が参加しました。

お昼前子供たちは、滝手前の浅瀬をせき止めた所へ放たれた六十匹のニジマスのかみ取りに挑戦しました。この秋一番の冷え込みの中、ズボンをまくり、歓声を上げながらはだして冷たい流れに入りました。魚をつかみ取りするという体験は初めての児童も多く、悪戦苦闘の連続です。スポーツ少年団指導員の方の援助や友達との協力で一匹また一匹と追い込みながら満面の笑みでつかみ上げていました。震えながらも最後まで弱音を吐かずに挑戦する多くの児童に感心です。

風ご飯は振興会の方が飯ごうで炊いてくださったご飯と、大鍋で料理して下さった芋汁、そしてみんなで取ったニジマスをいただきました。

こうした活動を通して、神石小の子供達は地域に支えられ、見守られて育っているのだなと思う次第です。スポーツ少年団及び古川自治振興会の関係者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。

さて、十一月二十日(日)十二時三十分から本校の学習発表会です。すべての学年で生活科・総合的な学習の時間で学習してきた内容を劇にして発表します。また今年度も、全校合唱やトランペット鼓隊の演奏を行います。

保護者、地域の方々、児童が精一杯発表します。どうぞ、ゆっくりご覧になってください。よろしくお願いたします。